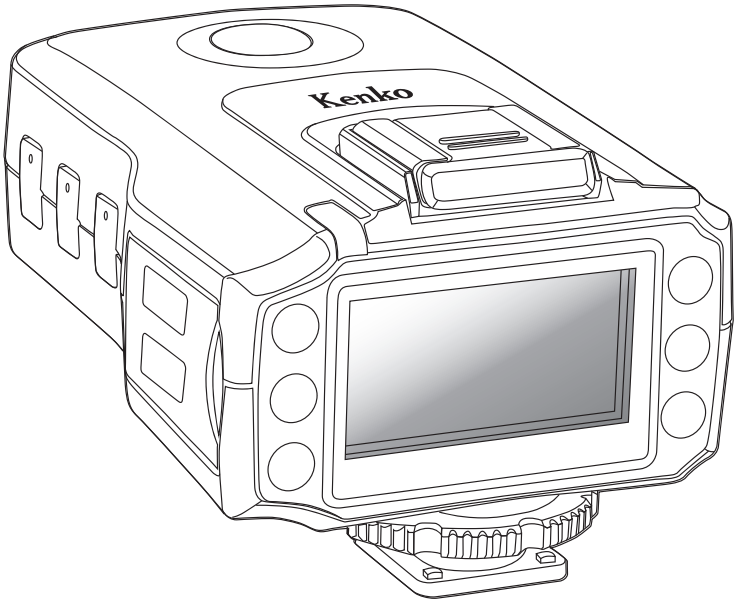
Kenko

2.4GHz 電波式ワイヤレストランシーバー

WTR-1

ニコン用（N）、キヤノン用（C）



取 扱 説 明 書

このたびはケンコーワイヤレストランシーバー「WTR－1」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能・性能を十分に発揮するため、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

Kenko Tokina Co., Ltd.

はじめに

「WTR－1」は 2.4GHz 帯の電波通信を使ったフラッシュ制御用のワイヤレストランシーバーです。本製品には下記のような特徴があります。

- ニコン製、キヤノン製カメラの自動調光に対応
- カメラに取り付け、トランスミッター (送信機) として使用
- 電波通信機能を持たないフラッシュにレシーバー (受信機) として取り付け、電波通信によるワイヤレス発光が可能

目次

●安全上のご注意 3

●パッケージ内容、各部の名称 6

●ご使用の前に 7
電池の入れ方、取り付け方

●電源の入れ方、表示画面の説明 8

●使い方
基本的な使い方の例 9
設定の手順 10

●その他の使い方：グループ光量比設定 13

●仕様一覧 14

●おかしいな?と思ったら 15

●サービス、メンテナンスについて 16
お問い合わせ窓口

安全上のご注意　～必ず最初にお読みください～

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

注意表示について

本説明書では次のような表示を使用しています。

⚠警告 または ⚠警告	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、 人が死亡、または重傷を負う可能性があります。
⚠注意 または ⚠注意	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、 人が傷害を負う可能性があります。 また、物的損害が発生する可能性があります。

禁止事項の表示と意味

	禁止 絶対に行わないでください。		接触禁止 触らないでください。
	水濡れ禁止 水に濡らさないでください。		分解禁止 分解、改造をしないでください。

注意事項の表示と意味

	火災注意 火災につながる可能性があります。		感電注意 感電の可能性があります。
	破裂注意 電池が破裂する可能性があります。		高温注意 やけどをする可能性があります。
	視力傷害注意 視力低下につながる可能性があります。		無線障害注意 周囲の無線に影響を与える可能性があります。

指示事項の表示と意味

	実行 必ず実行してください。

⚠警告　この指示にしたがわないであやまった取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性があります。

	分解、改造をしないでください。 感電の原因になります。
	本体、付属品、ケーブルを接続するコネクターなどの接点部に金属を差し込まないでください。 発火や故障、感電の原因になる可能性があります。 感電の原因になる可能性があります。
	外装が破損した時は、破損個所に触れないでください。 感電の原因になる可能性があります。
	本製品を水に濡らしたり、濡れた手で触らないでください。 故障や感電の原因になる可能性があります。
	フラッシュの発光部を人の眼に近づけて使用しないでください。 視力に傷害を与える可能性があります。
	フラッシュや本製品を手や布などで覆った状態で使用しないでください。 やけど、火災の原因になる可能性があります。
	必ず指定の電池を使用し、正しい方向に (+/−) 挿入してください。 逆に入れた場合、電池の破裂や液漏れの原因となります。
	新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。 電池の破裂や液漏れの原因となります。
	メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。 電池の破裂や液漏れの原因となります。
	湿気やほこりの多い環境での使用はしないでください。 故障の原因になる可能性があります。
	フラッシュをプロパンガスやガソリン等、可燃性ガスのある環境での使用はしないでください。 発火、爆発の原因になる可能性があります。。
	フラッシュを自動車、バイクなど乗り物の運転者に向けて使用しないでください。 交通事故の原因になる可能性があります。
	飛行機内や病院など、電波の影響を受けやすい精密機器がある場所で使用する場合は、航空会社や病院などの指示に従ってください。
	幼児の手の届く場所に置かないでください。 思わぬ事故の原因になる可能性があります。
	万が一、本製品が異常に熱くなる、煙が出る、焦げ臭いにおいがするなどの異常が発生した時は、直ちに使用を中止し、可燃物から離して保管した上で、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。

⚠注意 この指示にしたがわないであやまった取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があります。また、物的損害が発生する可能性があります。

	落下など、強い衝撃や振動を与えないでください。 故障の原因になります。
	長時間使用しないときは電池を抜いて保管してください。 電池の液漏れや故障の原因になります。
	自動車の車内など、高温になる場所に放置しないでください。 故障の原因になる可能性があります。
	フラッシュを連続で発光させると発光部周辺が高温になりますので触れないでください。やけどの原因になる可能性があります。
	フラッシュを連続で発光させると電池が高温になっている場合があります。 電池交換は十分に冷えたことを確認してから行ってください。
	本製品のお手入れにはベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤を使わないでください。 本体の変色や破損の原因になる可能性があります。

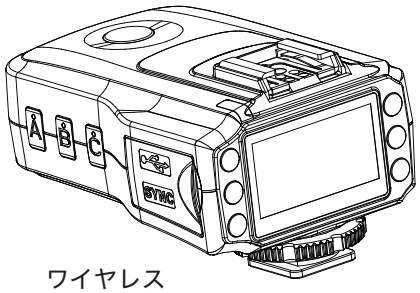
電波式ワイヤレス機能について

本製品は電波法に基づき、2.4GHz 帯小電力データ通信システムとしての技術基準適合証明を受けておりますので、本製品の使用に際して無線局の免許は不要です。ただし、下記の注意事項を守って使用してください。

	本製品は 2.4GHz 帯の電波を使用します。万が一、周囲の無線局、無線機器に影響が生じた場合はご使用を中止してください。
	本製品は電波法に基づく技術適合認定を受けていますので、分解や改造をしないでください。また、本体の証明ラベルをはがさないでください。 これらのことをした場合、法律により罰せられる可能性があります。
	本製品はご購入された国の電波に関する法律に準拠しておりますので、ご購入の国以外で無線機能を使用した場合、法律違反となります。 ご購入国以外で使用された場合のトラブルについて、弊社は一切の責任を負いかねます。 もしご購入された国がわからない場合は弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。

パッケージ内容の確認

本製品には以下の物が同梱されています。

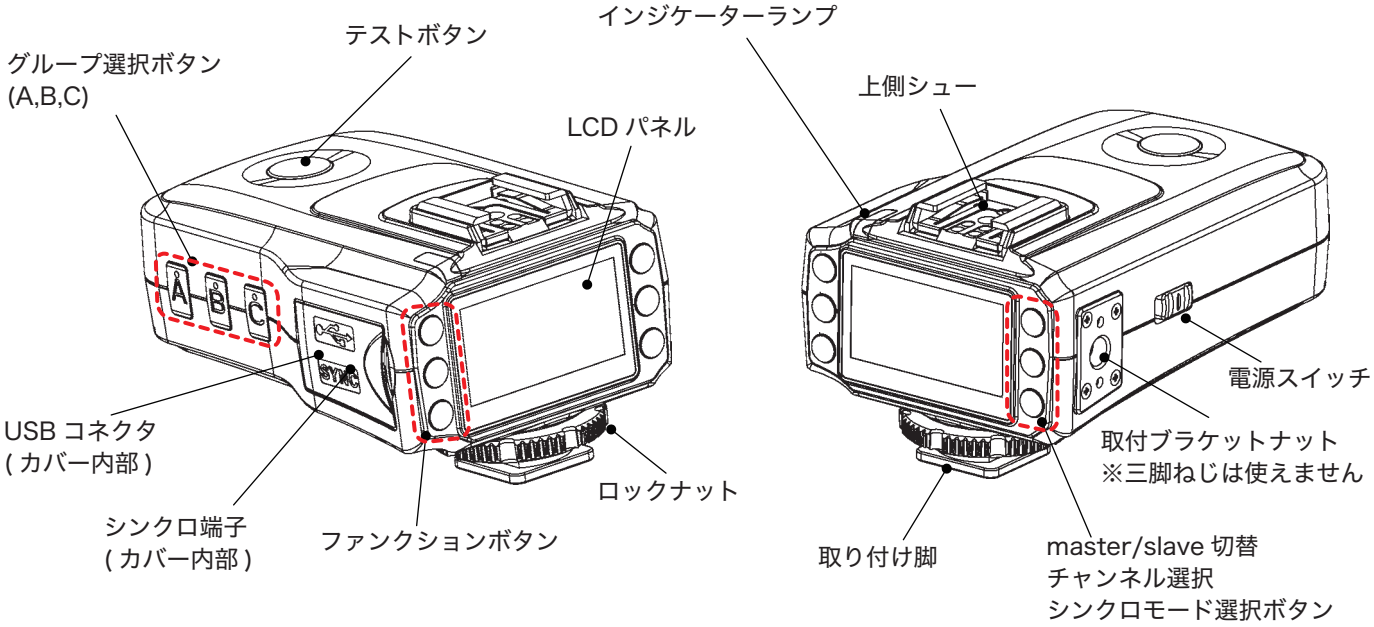


ワイヤレス
トランシーバー本体

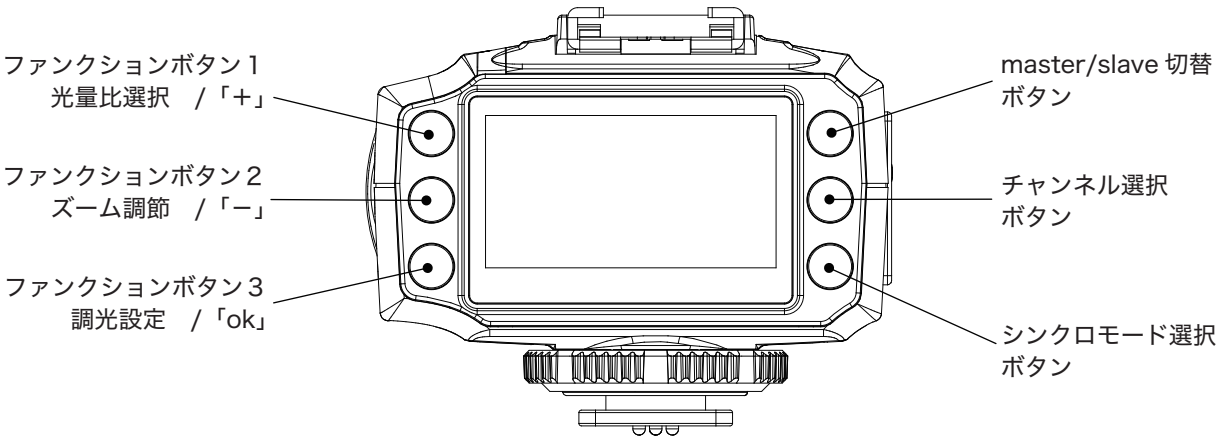
シューカバー

その他印刷物
・クイックスタートガイド
・保証書

各部の名称



●操作ボタン

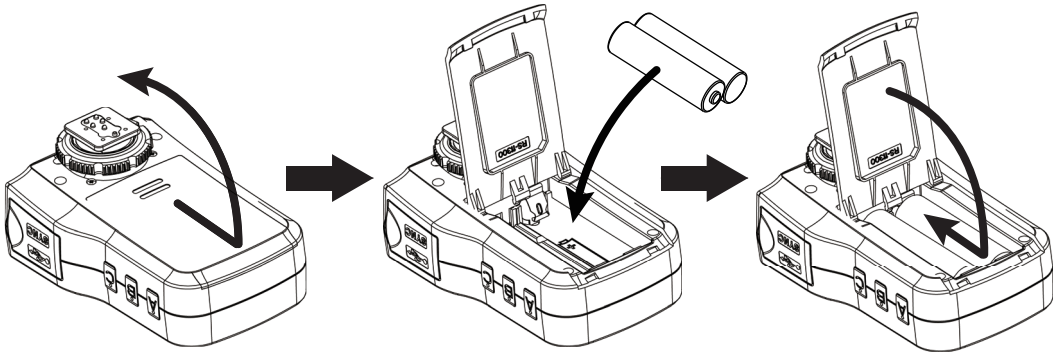


ご使用の前に

電池の入れ方

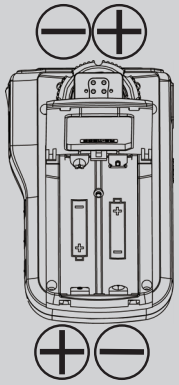
本製品の電源を off にした状態で、本体下面の電池蓋を開け、表示に従って正しい向きで電池を入れてください。

必ず単３型アルカリ乾電池またはニッケル水素電池を使用してください。



電池蓋を開ける　　電池を入れる　　電池蓋を閉めてロック

電池の方向

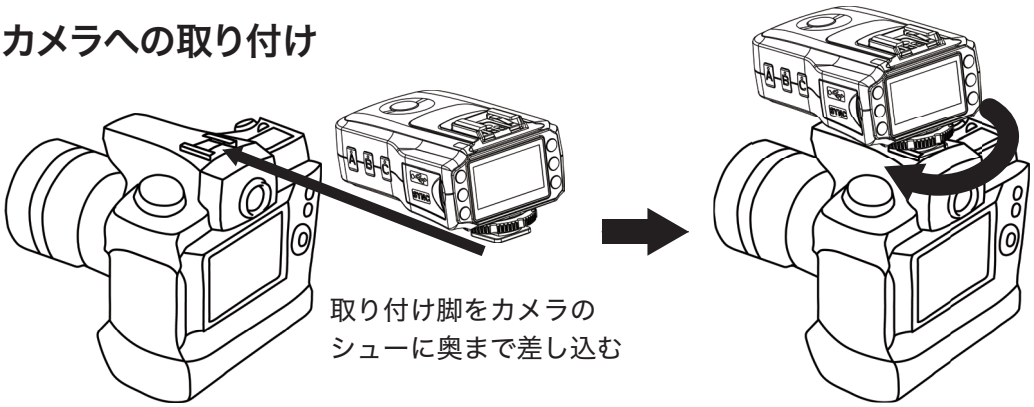


必ず指定の電池を使用し、正しい方向に (＋/－) 挿入してください。
逆に入れた場合、電池の破裂や液漏れの原因となります。

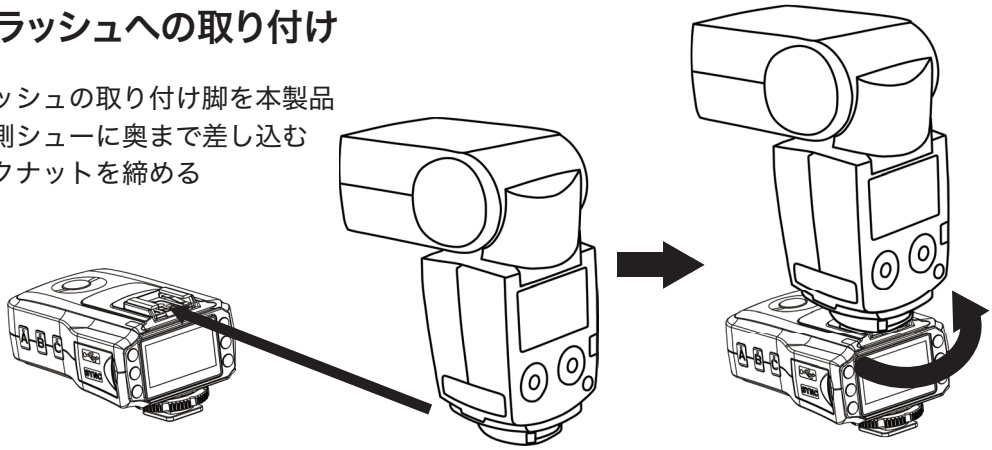
取り付け方

本製品、カメラ、フラッシュの電源を off にした状態で取り付けてください。

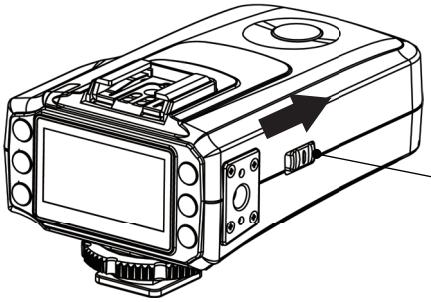
●カメラへの取り付け



●フラッシュへの取り付け



電源の入れ方



電源スイッチを矢印の方向に
スライドしてください

電源スイッチ

表示画面の説明

●基本画面

ファンクションボタン１
の機能表示
(光量比設定)

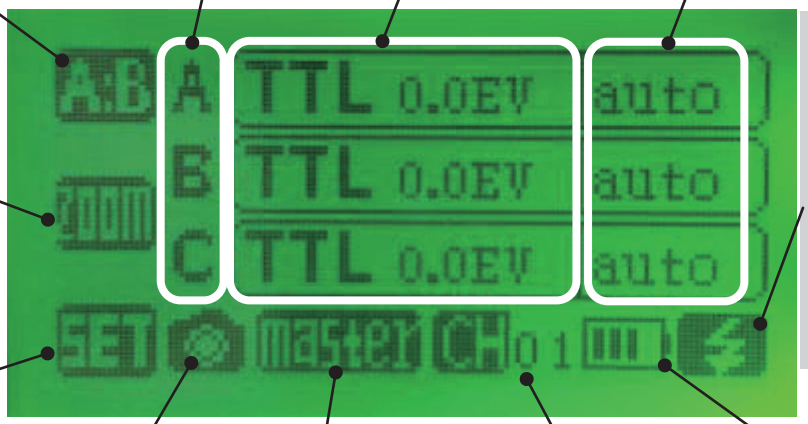
ファンクションボタン２
の機能表示
(ズーム設定)

ファンクションボタン３
の機能表示
(調光設定)

グループ表示
(A,B,C)

グループごとの発モード
(TTL / M / OFF)

グループごとのズームモード
(auto / 20 ～ 200mm)



シンクロモード
ニコン用
ノーマル
後幕シンクロ
キヤノン用
ノーマル
ハイスピード

カメラと接続されている
時に表示

master / slave
または
AF on/AF off

チャンネル番号
(ch1 ～ 15)

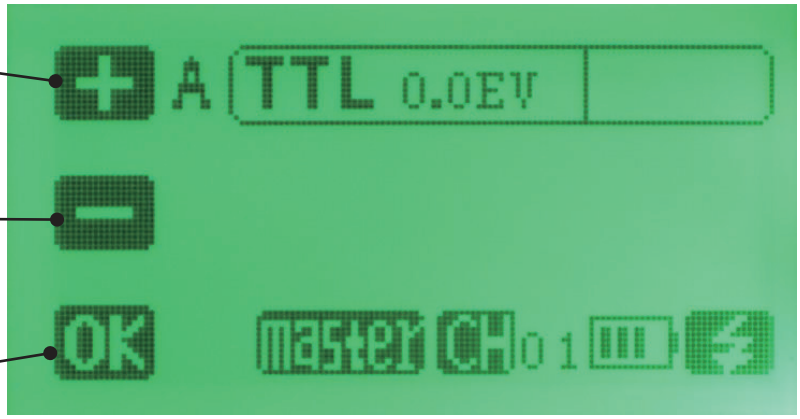
電池残量表示

●各項目の設定モードに入った時

ファンクション
ボタン１の機能
⇒値を増やす「＋」

ファンクション
ボタン２の機能
⇒値を減らす「－」

ファンクション
ボタン３の機能
⇒決定「OK」



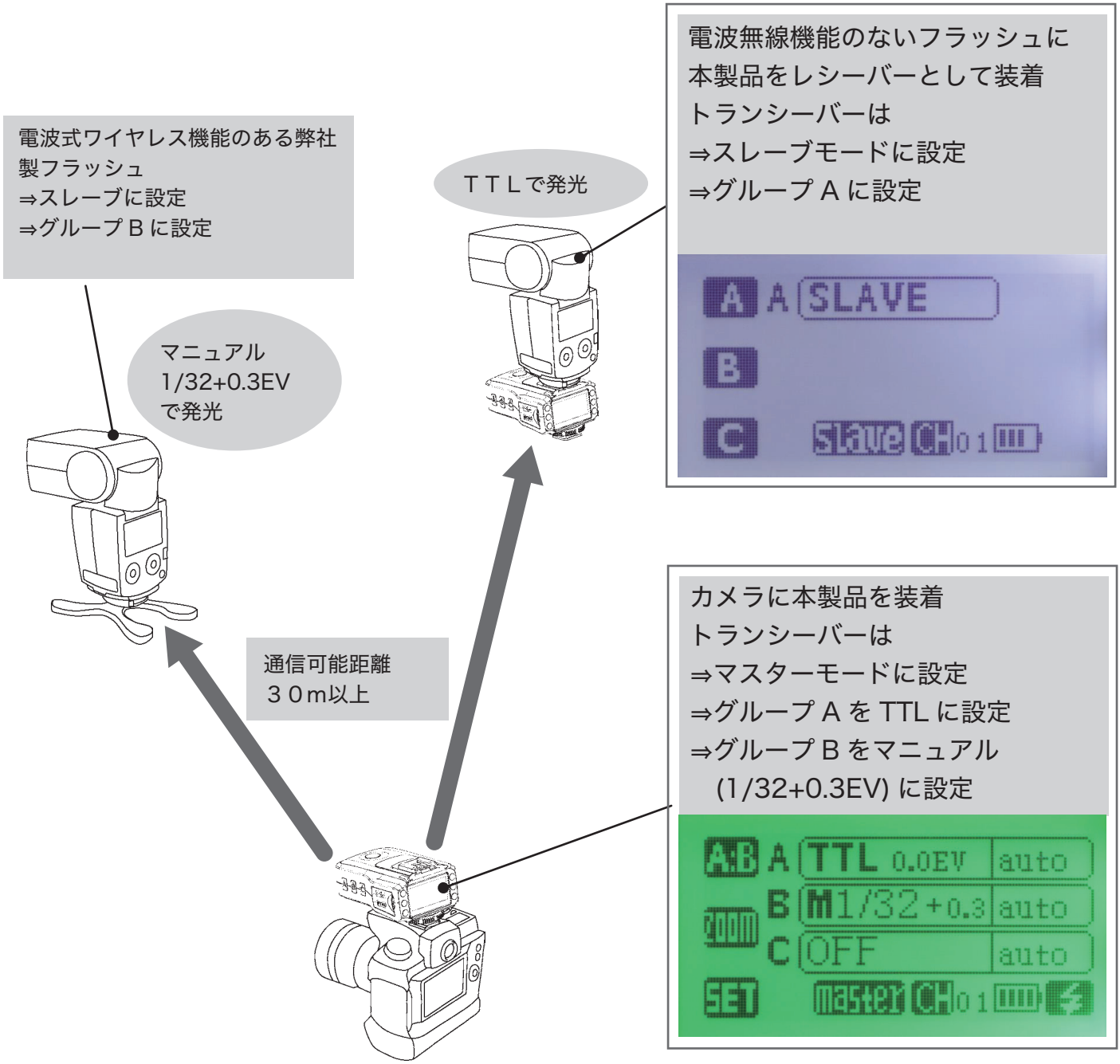
※調整可能な項目が点滅します

基本的な使い方

基本的な使い方の例

本製品をカメラに装着してマスターとして使用し、
離れた位置の弊社製電波式ワイヤレスフラッシュ、または２台目以降の本製品をレシーバーとして装着したフラッシュを遠隔発光させます。

例えば、
２台のフラッシュを２つのグループに分け片方を TTL で、もう片方をマニュアルで発光させたい場合の設定方法



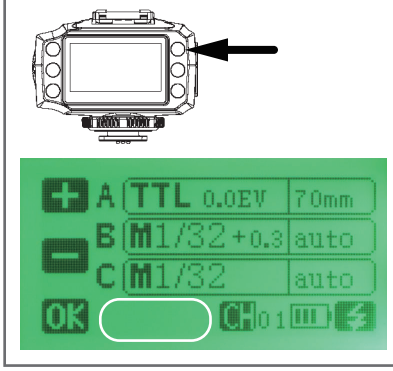
設定の手順

カメラ、および本製品を下記の設定にすることで、カメラにおまかせのオートフラッシュ撮影を行うことができます。

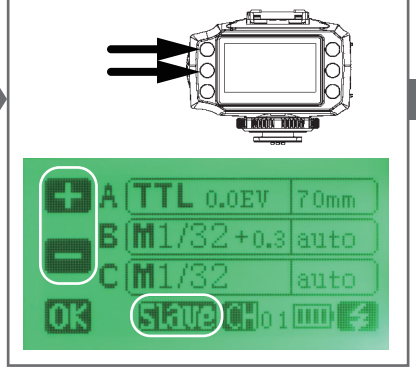
① 本製品を master に、遠隔発光させるフラッシュ、またはレシーバーを slave に設定する

●slave 設定方法

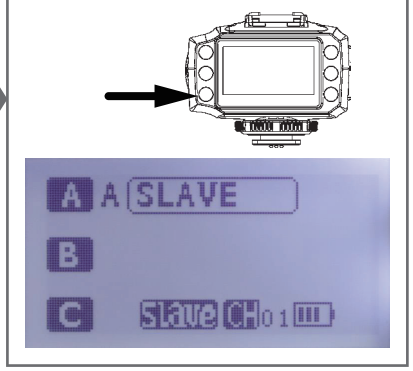
master/slave
切替ボタンを押す



【+】または【−】
で切り替わる



【OK】を押すと
slave(画面緑→白)
に切り替わる

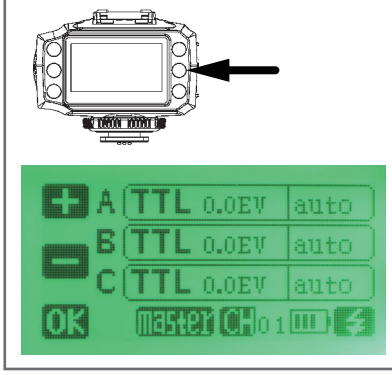


※電波式ワイヤレスのフラッシュをスレーブにする場合は、
フラッシュの説明書を参照してスレーブに設定してください

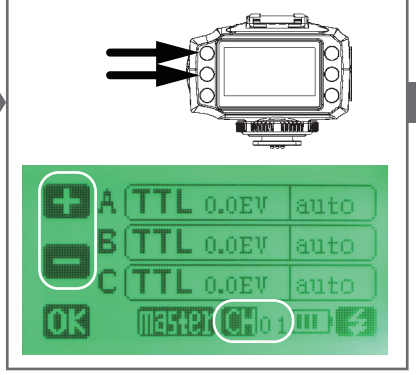
② チャンネルを設定する (使用する機器はすべて同じチャンネルに設定)

●チャンネル設定方法

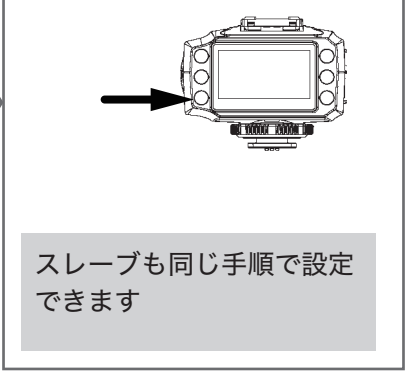
チャンネル切替
ボタンを押す



【+】または【−】
で切り替わる



【OK】を押して
設定完了



スレーブも同じ手順で設定
できます

※電波式ワイヤレスのフラッシュをスレーブにする場合は、
フラッシュの説明書を参照してチャンネル設定してください

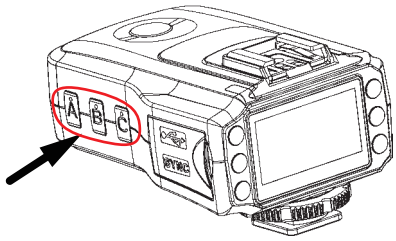
設定の手順 (つづき)

③ スレーブのグループを設定する

●slave のグループ設定方法

slave に設定した本製品のグループ選択ボタン (A,B,C) を押す

slave に設定
してから



グループ A に設定

グループ B に設定

グループ C に設定

※電波式ワイヤレスのフラッシュをスレーブにする場合は、
フラッシュの説明書を参照してグループを設定してください

④ スレーブフラッシュの配置を決める

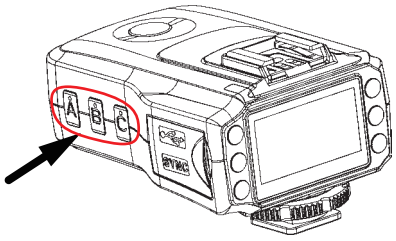
P9 の例を参考に配置してください。

⑤ グループごとのモード (TTL/M/ 使用しない) を設定する

●グループごとのモード設定方法

master に設定した本製品のグループ選択ボタン (A,B,C) を押す

master に設定
してから

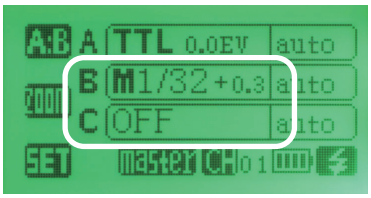


繰り返し押すことで
TTL→M→OFF→TTL･･･
の順に切り替わります

グループ A を TTL に設定

グループ A を M に設定

グループ A を使わない



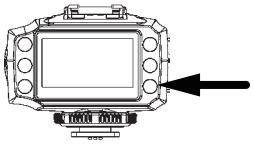
同様の手順でグループ B,C も切
り替えることができます

設定の手順 (つづき)

⑥ シンクロモードを設定する

●シンクロモード設定方法

master に設定した本製品のシンクロモード設定ボタンを押す



※カメラ側で後幕シンクロに設定した場合は、カメラ側の設定が優先されます

※ニコン用は FP 発光にも対応しています。
本製品の画面には表示されません。カメラの表示をご確認ください

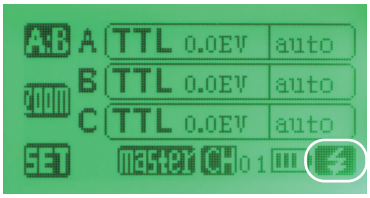
ニコン用

ノーマル (先幕) シンクロ

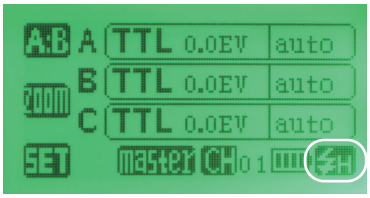
後幕シンクロ

キヤノン用

ノーマル (先幕) シンクロ



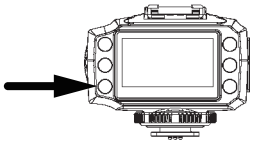
ハイスピードシンクロ

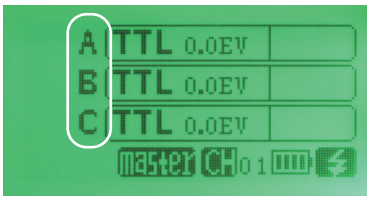


⑦ グループごとの調光、ズームを設定する

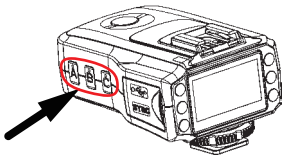
●調光設定方法

調光設定ボタンを押す
(ファンクション 3)

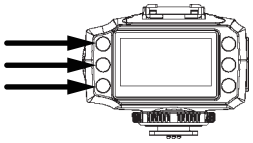




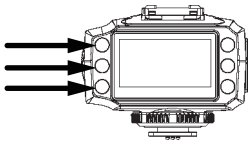
設定するグループを
選択する



または

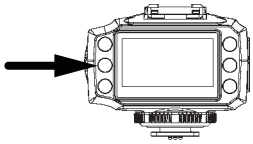


【+】【−】で調節
【OK】で完了



●調光設定方法

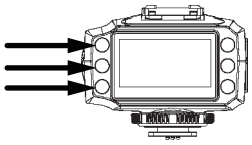
ズーム設定ボタンを
押す (ファンクション 2)



設定するグループを
選択する

または

【+】【−】で調節
【OK】で完了

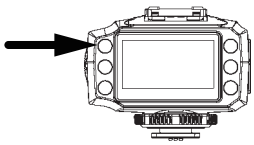


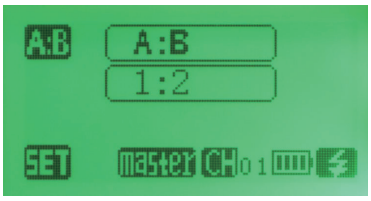
その他の使い方：グループ光量比設定

２台以上のフラッシュを複数のグループ (A,B または A,B,C) に分けた状態で、グループごとに光量比を設定して全体で TTL 自動調光撮影を行うことができます。

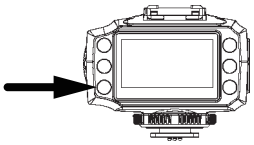
●２グループ (A,B) で光量比設定する場合

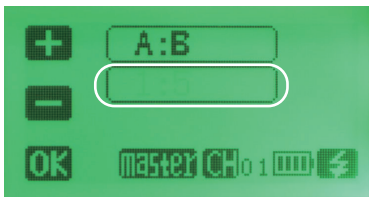
光量比設定ボタンを
押す (ファンクション 1)



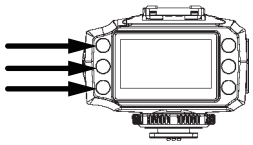


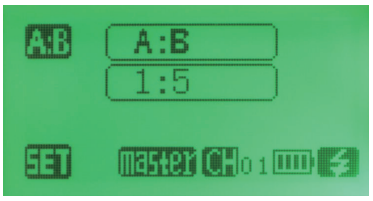
【SET】を押すと
光量比が点滅する





【+】【ー】で調節
【OK】で完了



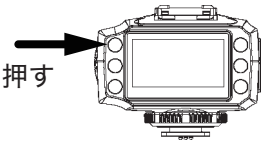


⇒このまま撮影することで、グループ A,B の各フラッシュが
指定の光量比で、カメラによる自動調光撮影が行われます。

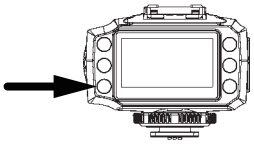
●３グループ (A,B,C) で光量比設定する場合

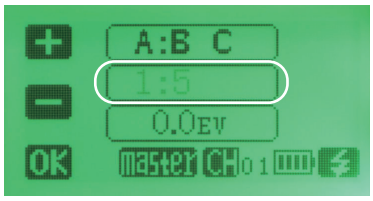
光量比設定ボタンを
連続で２回押す

２回押す

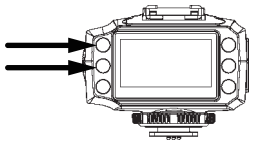


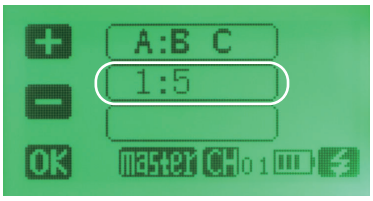
【SET】を押すと
光量比が点滅する



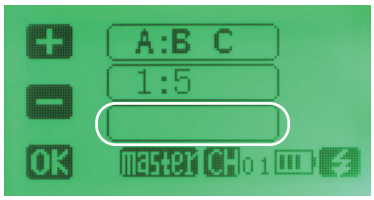


【+】【ー】で調節し、
【OK】で決定する





自動的に
C の光量設定に移る
【+】【ー】で調節し、
【OK】で決定する



⇒このまま撮影することで、グループ A,B,C の
各フラッシュが指定の光量比で、
カメラによる自動　調光撮影が行われます。

仕様一覧

対応カメラ	[ニコン用] ニコン製デジタル一眼レフ / ミラーレスカメラ [キヤノン用] キヤノン製デジタル一眼レフ / ミラーレスカメラ
電波通信 ワイヤレス機能	通信可能距離：30m以上 チャンネル数：15 チャンネル 発光モード：TTL、マニュアル グループ数：3 グループ (A/B/C) 調光補正：-3.0 ～ +3.0　1/3EV ステップ (TTL) 発光量　：1/1 ～ 1/128　1/3 ステップ (マニュアル)
シンクロ方式	先幕シンクロ、後幕シンクロ
ハイスピードシンクロ	可能
テスト発光	テストボタンにより可能
インターフェース	USB2.0(miniUSB)、シンクロ端子
動作モード	[ニコン用]i-TTL モード、マニュアルモード [キヤノン用]E-TTL2 モード、マニュアルモード
対応電池	単 3 型アルカリ乾電池 2 本 または、　単 3 型ニッケル水素電池 2 本
寸法	幅 62.5mm× 高さ 50.5mm× 奥行 94.2mm
質量	約 120g(電池除く)
同梱物	シューカバー、クイックガイド

おかしいな?と思ったら

トラブルが起きた、警告表示が出たなどの場合は、ご購入店や問い合わせ窓口に連絡する前に、以下の項目を確認してください。

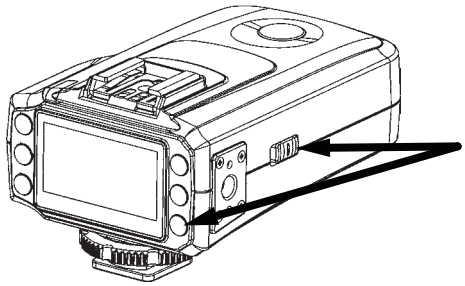
トラブル	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電池の方向が違う	正しい方向に入れ直してください
	電池が消耗している	新品または充電済みの電池に交換してください
フラッシュが発光しない	フラッシュの過熱防止機能が働いている	フラッシュが十分に冷えるまでお待ちください
	シュー、端子の汚れ	シュー、端子を掃除してください
スレーブフラッシュが発光しない	しっかり固定されていない	シューにしっかり奥まで取り付けなおしてください
	スレーブまでの距離が遠い、または間に電波を遮る障害物がある	マスター、スレーブの位置を見直してください
	マスター側とスレーブ側のグループ、チャンネル設定が異なる	グループ、チャンネルの設定を見直してください
正常に動作しない 表示がおかしい 操作を受け付けない	製品の誤作動の可能性	電源スイッチを入れなおしてください
その他	以上の対処方法を行ってもトラブル解消しない場合、あるいは、破損、故障により修理をしたい場合は、ご購入の販売店、あるいは P16 の弊社お問い合わせ窓口に連絡してください	

サービス、メンテナンスについて

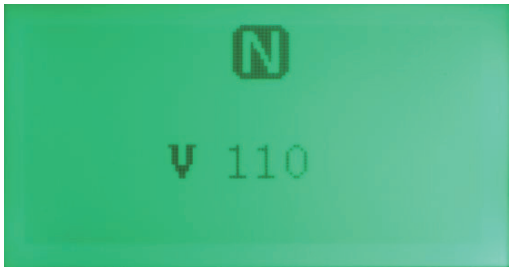
ファームウェアのアップデート方法

市販の mini-USB ケーブルでお使いの PC と接続し、本製品のサポートページに記載される方法に従いアップデートしてください。

ファームウェアバージョンの確認方法



バージョン表記画面
(ニコン用、Ver110 の場合)



メンテナンスについて

- 清掃は、ブロアーでゴミやホコリを吹き飛ばしたのち、柔らかく清潔な布で軽くふいてください。
- 海辺などで使用して塩分を含んだ水滴がかかった場合は、真水を数滴たらした柔らかく清潔な布で塩分をふき取ったのち、乾いた布で軽くふいて乾かしてください。
- 本製品は防水、防滴仕様ではありません。
  お手入れの際水をかけたり、水分を多く含んだ布などを使わないでください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤が含まれた汚れ落としスプレーや汚れ落としシートなどは使わないでください。

ケンコー・トキナーお客様相談室

フリーコール **0120-775-818**

【携帯 / PHS / IP電話】**03-6840-3389**（有料）

受付時間：月～金：9：15～17：30(土、日、祝日、年末年始を除く)

http://www.kenko-tokina.co.jp/address.html

株式会社 ケンコー・トキナー

〒164-8616 東京都中野区中野 5-68-10 KT 中野ビル